

学校関係者評価 報告書

評価日時:令和5年2月17日(金)9:00~12:00

評価委員

- 委員長 当校非常勤講師
- 委員 元副院長・看護部長、看護教育経験者
- 委員 卒業生、看護部長
- 委員 推薦指定校 高等学校校長

学校出席者:教育主事 教員

- 議事:1)教育主事および教員より以下について説明
- ・昨年度の学校関係者評価を受けての取り組み
 - ・学校重点目標に対する取り組み、今後の課題等
- 2)今後の課題等についての意見交換

【重点目標1】 新カリキュラムの意図に沿って教育内容・方法・評価を検討し、学生が主体的に学習できる教育を提供する

- 取り組み:1)新カリキュラムに沿った授業および研修の実施と評価
- 地域・在宅看護概論Ⅰ、健康支援論、看護情報学、多職種連携研修
 - eラーニングの活用
- 2)授業研究、実務研修、教育実践研究、公開講座、地域への講師等での参加に関する実施状況

【重点目標2】 働き改革を踏まえてICTを活用した業務の改善を図る

取り組み:1)プロジェクト活動の実施状況と評価

プロジェクト名	活動内容
ICTを活用した学習支援プロジェクト	①eラーニングシステムの活用 ②オンラインを活用した教授活動の工夫
業務改善プロジェクト	①会議の負担軽減 ②教員研究日の取得推進 ③年休取得推進 ④時間管理と適正な超過勤務申請への取り組み
学校の安全対策プロジェクト	①防災マニュアルの活用と修正 ②災害時連絡体制の確立 ③学生の防災委員会の活動支援

【評価委員からの評価】

1. 教育実践に関して

1) 学校と臨床と一緒に授業に取り組むようにすると学生にとってリアリティを持って考えられ理解につながると思う。まずは医療安全等、臨床と関係の深い科目での取り組みを期待する。

2. 教育実施要領(シラバス)について

1) 教育内容が複数の科目で重複しているものがあるので、科目間のつながりや関係をわかりやすくすることが必要である。教員同士、さらには外部講師とも授業等をオープンにして意図的に確認し合うことが望ましい。

2) 主要概念として「教育」について記載されていないため、学校であることから「教育」を主要概念として記載することが望ましい。

3) 表記方法として、「フィジカルイグザミネーション」など英語(横文字)表記されているものは学生が見た時に分かりにくい。日本語を併記した表記に変更してもらいたい。

3. 学生便覧について

1) 通学規程について、自動車、バイクでの通学の項目が分かりにくい。誰もがわかる文章での記載が望ましい。